



10月26日 きくち未来編集部

本を片手にスローな1日を

ふるさと創生市民広場で「SLOW DAY KIKUCHI」が開催されました。市民有志で結成している「きくち未来編集部」が主催し、今年で6回目。会場には、図書館司書が選んださまざまな本が並べられ、絵本の読み聞かせも行われました。



宝石石鹸作りやボードゲームなどのワークショップと、カレーやコーヒーなどの出店も並び、来場者は本とマーケットを楽しみました



10月27日 七城中学校

次世代を担う中学生が職人芸を体験

七城中学校で県技能士会連合会菊池支部による職業体験が開催され、2年生52人が参加しました。次世代を担う若者たちに職業体験をしてもらい、働くことの意義や社会の仕組みについて理解を深めることを目的に行われています。



木村咲月さんは「日常生活の安全がどのようにつくられているのか分かった、人の温かさを感じました」と話しました



10月29日 まちのたねラボきくち

市内の中学生が本物の演奏を堪能

泗水ホールで、ジョルジュ・サンド・トリオによるスクールコンサートが開催されました。節子・クロソフスカ・ド・ローラさんのふるさと菊池応援大使への任命と併せて企画。市内の中学1年生約400人が生演奏を堪能しました。



ジョルジュ・サンド・トリオは、パリを中心に活躍するバイオリン、チェロ、ピアノの三重奏で、日本ツアーも多数開催しています



10月25日 西部電気工業㈱

西部の森きくちで下刈り作業を実施

四季の里旭志周辺の市有林「西部の森きくち」で西部電気工業㈱(坂口隆富美代表取締役社長)のグループ関係者らが第16回の下刈り作業を実施しました。同社と本市は、協働の森づくり協定を締結し、年2回活動が行われています。



九州管内のグループ社員約260人が参加。本活動も16年目を迎え、今年の4月に植樹を行った箇所の下刈り作業を行いました



10月27日 旭志中学校

中学生が異文化交流

インドネシアの中学生9人が旭志中学校を訪問しました。訪問した中学生がインドネシア文化の紹介や伝統楽器「アングロン」を演奏。旭志中の2年生が英語で校舎案内や習字を教えながら交流し、互いに異文化を学びました。



水上綺子さんは、「英語は苦手だけど、伝えることができた。インドネシアの音楽は、聞いていて楽しかった」と話しました



10月28日 ふるさと菊池応援大使

第3号として新たに任命

菊池一族の末裔であり、画家・随筆家として活躍している節子・クロソフスカ・ド・ローラさん(スイス在住)を、ふるさと菊池応援大使に任命しました。当日は、「故郷」と題した講演会も行われ、「菊池は魂のふるさとです」と話されました。



ふるさと菊池応援大使は、本市の魅力をPRし、市の認知度とイメージアップを図ることを目的に令和6年8月から始まった制度です



10月18日 福本八幡宮獅子舞花笠踊

獅子舞と花笠踊りを奉納

福本八幡宮で秋の例大祭が行われました。獅子舞や花笠踊りの踊り子たちが、介護施設「孔子の里」から福本八幡宮まで練り歩き、到着後に獅子舞と花笠踊りを奉納。地元住民が多く集まり、境内にはにぎわいを見せました。



福本八幡宮獅子舞花笠踊は市指定無形民俗文化財に指定されています



10月19日 劇団「ゼーロンの会」

能場で「メーディア」を上演

菊池松囃子能場で劇団「ゼーロンの会」(熊本市)が、古代ギリシア悲劇として名高い「メーディア」を上演。演出を手がける上村清彦さん(七城町出身)が菊池高校の卒業生で、御所通りを芸術の力で息づかせたいと、今年も実現しました。



能場での本格的な演劇の上演は4回目。演者たちは鬼気迫る演技で150人を超える観客を魅了しました



10月24日～11月3日 令和7年度菊池市文化祭

市民が日ごろの成果を発表

10月24日に泗水ホールで4支部合同開会式・前夜祭が行われた後、25・26日に泗水支部、11月1～3日に菊池支部・七城支部・旭志支部が、各会場で作品展示、芸能発表を行いました。



各会場では、作品展示や茶道のお点前、子ども生け花体験などの他、芸能発表では吹奏楽やコーラスなどが披露されました



10月18日 くまもと・みんなの川と海づくりデー

きれいな川や海を次世代へ

熊本のきれいな川や海を健全な姿で次世代に継承していくため、平成14年度から水辺の県下一斉清掃活動に取り組んでいます。今回、本市では鴨川河畔公園や鴨川河川敷、菊池川河川敷で清掃活動を実施しました。



当日は早朝から180人が参加。河川沿いを歩きながら、ごみを拾い集めました



10月19日 菊池市民スポーツフェスティバル

みんなでスポーツを楽しむ

市内4会場でスポーツフェスティバルが開催され、グラウンドゴルフに120チーム、モルックに26チームが参加しました。4会場の他、泗水体育館ではニュースポーツ体験も行われ、参加した人たちは楽しんで体験しました。



■グラウンドゴルフ優勝チーム(【会場名】ABパート、CDパート)【多目的グラウンド】北宮B、あじさい会【七城グラウンド】内島、上西寺A【泗水グラウンド】深川、小原A
■モルック優勝チーム【旭志グラウンド】TMC-B(竹の下)
※2位以下はホームページに掲載しています



10月20日 旭志伊萩区

五穀豊穡の感謝を伝える

伊萩二宮神社で1404年から続く五穀豊穡の行事が行われました。7月の「御願立て」を経て、収穫に感謝する「御願解き」を開催。新わらで作られた鬼神棒やしめ縄は正月まで鳥居に飾られ、どんどやで焚き上げられます。



伊萩区長の安武信也さんは「この地域で長く続く行事を、自分たちも後世に継承していきたいです」と話しました

11月11日 郷土の歴史を知る 地域の映像を教育に役立てて

日本野鳥の会の大森正人さん(熊本市)が黒仁田地区周辺の動植物や住民の暮らしなどを収録したDVDを、教育委員会と菊池北小学校と菊池北中学校に贈呈しました。DVDには集落の成り立ちや風景なども収録されています。



大森さんは「黒仁田地区周辺の豊かな自然や人々の営みは、持続可能な生きる方向を示しており、SDGsそのものです」と話しました

11月12日 認定NPO法人はっぴい・はっぴい 人口増加に向けて市と連携

市は認定NPO法人はっぴい・はっぴい(大津町)と包括連携協定を締結しました。12月には本市で初めてとなる婚活パーティーを実施。今後、結婚や婚活支援などの事業を通じ、市の人口増加に向けて取り組んでいきます。



㊤から認定NPO法人はっぴい・はっぴいの江藤南美枝理事長、江頭市長

11月14日 第11回身近な風景自慢フォトコンテスト 応募作品52点の中から入賞作が決定。最優秀賞2点を紹介します

菊池市の身近な自慢の風景を募集したところ、52点の応募がありました。投票と審査で最優秀賞2作品、優秀賞4作品が選定されました。優秀賞の作品はホームページでご覧いただけます。 ホームページ→



撮影場所・菊池市鳳来

『ばあばんちの川!!』
ペンネーム: ひろママさん(菊池市)

11月9日 菊池市総合防災訓練 “もしも”に備え、防災意識を高める

泗水孔子公園と泗水公民館で災害に強いまちづくりを目指し、菊池市総合防災訓練を実施しました。当日は朝から雨のため一部内容を変更して実施しましたが、参加者は各種訓練や展示などを通して防災への知識と理解を深めました。



AEDの使い方や木の棒と毛布を使った担架の作り方など、防災に関する講習も行われました

11月11日 プラチナ未来人財育成塾 未来に向けて。中学生が参加報告

未来のリーダーを育てることを目的に、昨年8月に東京で開催された「プラチナ未来人財育成塾」に参加した市の代表生徒7人が、市役所で報告会を行いました。著名な講師の講義を聴き、それぞれの考えを発表しました。(関連10・11㊤)



意見交換では、考えたことや成長したこと、将来の目標、市への思いなど参加者からの質問に、自ら考え、堂々と思いを伝えました



撮影場所…ふるさと創生市民広場

『白龍まつりA』
鐘ヶ江春雄さん(福岡県久留米市)

10月31日 隈府小学校 小学生が郵便局をお掃除

隈府小学校5・6年生のボランティア委員13人が菊池郵便局で清掃活動をしました。児童は事務室の掃除とチルド用の郵便車の拭き上げを実施。机の下や手の届きにくい車の上まで丁寧に掃いたり拭いたり、熱心に取り組みました。



5年生の草野陽向さんは「みんなが楽しい生活を送れるように学校の中でも外でも人のためになる活動をしていきます」と話しました

11月6日 菊池川流域清流保全協議会 水質事故を想定して万が一に備える

菊池川流域の各市町や県の職員約50人が迫間川で水質事故対策訓練を行いました。水質事故は社会に大きな影響を与えるため、発生後は的確な対応が必要です。訓練では、実践的な対応手順を確認し、事故処理技術を学びました。



油が川に流出した想定で、オイルフェンス設置や吸着マット布設訓練、土のうによる流下拡散防止訓練などを実施しました

11月8日 九州柳河精機㈱ 草刈り機と芝刈り機を市に寄贈

九州柳河精機㈱(田尻雅浩代表取締役社長)から市に草刈り機と芝刈り機が贈られました。同社は地域貢献事業の一環として、長年にわたり市に寄贈しています。いただいた物品は市の施設管理のため、大切に活用していきます。



旭志川辺の社内グラウンドで行われた「2025やながわ秋まつり」で田尻代表取締役社長㊤から江頭市長㊤に目録が贈られました

10月29日 熊本ダイハツ販売㈱ 地域活性化に向けて市と連携

市は熊本ダイハツ販売㈱(熊本市)と包括連携協定を締結しました。11月から開始しているカーシェア事業で貸し出される福祉車両のお披露目式も実施。今後、公共交通や産業振興などの事業に連携して取り組んでいきます。



㊤から熊本ダイハツ販売㈱の畑島幸博代表取締役、江頭実市長。カーシェア事業の詳細は広報きくち令和7年11月号19㊤をご覧ください

11月6日 菊池幼稚園 アソボールで楽しく体を動かす

菊池幼稚園の園児が総合体育館でアソボールに挑戦しました。日本ソフトボール協会副会長の宇津木妙子さんが指導し、年長児16人と保護者が参加。軟らかいボールを投げたりバットで打ったりして全力で体を動かしました。



園児の中原楓さんは「ボールを打つのが楽しかったです。幼稚園でもまたやりたいです」と話しました

11月6日 泗水東小学校 小学生が地元の伝統文化を体験

泗水東小学校の3年生35人が住吉日吉神社で住吉日吉神社雨乞太鼓を体験。雨乞太鼓は市の無形民俗文化財に指定されています。お参りをした後、保存会の皆さんから雨乞太鼓の説明を聞き、実際に一人一人が太鼓を叩きました。



児童たちは、会長から太鼓を叩いた感想を聞かれ、「バチが思ったよりも堅い」「叩くと力が必要だった」などと答えていました